芍藥ノ有效成分ハ安息香酸ガ證明サレタ他未ダ詳カデナイ。

又**やましゃくやく** *Paeonia obovata* MAXIM. var. *japonica* MAKINO ノ根モ亦藥用ニ供サレルコトガアル。山芍藥ハ根細長ク赤味ヲ帶ビ是ヲ栽培スルモ收量少ク品質劣等デ價額モ低廉デアルタメ現今殆ンド市場ニ見ルコトハナイ。然シ山芍藥ハ氣味芳香性デヨク貯藏ニ堪エル爲メ屢々其野生品ヲ採取シ其粉末ヲ藥用ニ供スル、卽チ其芳香ハ牡丹皮ノ成分ト同ジクぺをのーる Paeonol $C_9H_{10}O_3$ ニ基因スルモノデアル。

終リニ本調査ニ際シ分析ヲ擔當サレタ河上暢男君、並ニ調製上ノ助言ヲ與ヘラレタ金子鷹之助氏、福田新次氏ノ各位ニ對シ厚ク謝意ヲ表スル。

~~~~~~~~~~~~

眞鶴岬ノなぎらん

岸 田 松 若

Matsuwaka KISHIDA: *Cymbidium lancifolium* HOOKER in Manazuru-Zaki, Prov. Sagami, a new locality

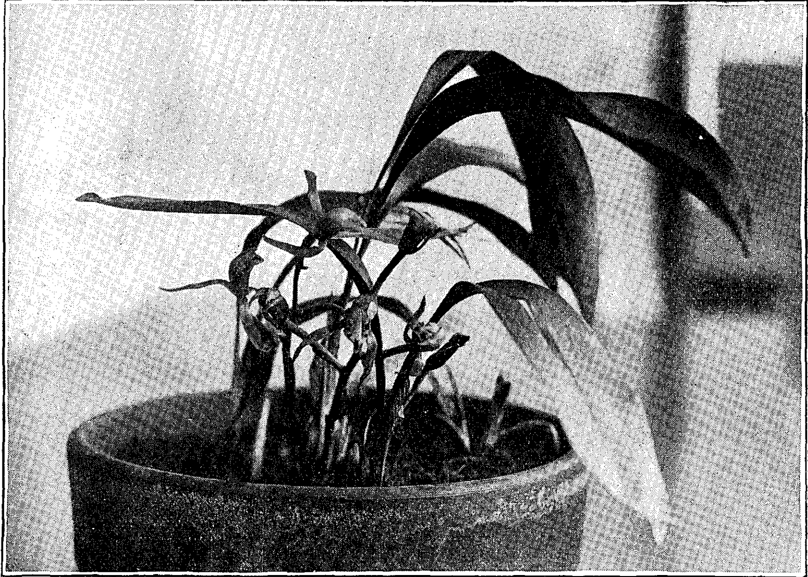
昨年ノ 2 月 11 日ニ眞鶴岬ニ採集ニ行ツタ時、岬ノ端ニ近イ小サナ溪合ノ斜面ノ林中デなぎらん *Cymbidium lancifolium* HOOKER ガアルノヲ見出シタ。

之ハ松野マサ子氏ガ採ツテ來タモノデ、場所ハ海ニハアマリ近クナイ——然シ海ハ見エル——南面シタ幾分陰濕ノ溪合ノ黑松林デ、之ニたぶヤやぶにくけいノ大木ガ所々ニアリ、ソノ外いぬびは、かくれみの、やぶむらさきナドモ混リ、はまひさかき、あをき、きいちごノ類、こあかそノヨウナ灌木ヤ夏秋ノ候ハゐのこづち、やまはくか、禾本ノ類ソノ他ノ草ガ雜然ト生ヒ茂リ、冬ハあづまざさヤまなづるざさノ茂ミノ間ニゐのでノ類ヤべにしだガ翠ヲ誇ツテ居ル所デ、見タ數ハ總體デ 12—3 アツタラシイ。

6 本許リ採ツテ來テ歸來鉢ニ植エテ室內ノ暖イトコロニ置イテ、4 月頃暖ニナツテカラ外ヘ出シタ。愛養ノ甲斐ガアツテ 6 月ノ中頃新シイ花芽ヲ出シテ 7 月ノ始メカラ唉キ初メタノデ同月ノ 10 日ニ寫眞ニ撮ツタ。圖ガソレデアル。

花蕾ガ太分膨ランダ 6 月ノ終リ頃ト思フ。松野氏ヲ案內トシテ再ビ同地ヲ訪レタガ、草ガ深ク、且ツ天候モアマリ上等デナカツタセイカ、2 人トモ 1 本モ見ツケ得ナイデ手ヲ——ヂャナイ胴籃ヲ——空ウシテ歸ツタ。鉢植ノモノモド
~~~~~~~~~~~~

ウセ吾人ノ腕前デハ永持チ出來ソウモナイノデ 7 月 14 日ノ御盆ノ日ニ腊葉ニナツテモラツタ。



なぎらん *Cymbidium lancifolium* HOOKER
昭和 8 年 2 月 11 日眞鶴ニテ採集セルモノ、同年 7 月 10 日撮影 (東京)

なぎらんハ本州デハ寡聞ニシテ紀州ノホカ新島、八丈島ニアルノミト聞イテ居タ。兎モ角モ眞鶴岬ハ新産地ト考ヘルノデ一報スル。

本邦菌類「フロラ」ニ一屬一種ヲ加フ

野 口 六 也

NOGUTI, Rokuya: *Gyrocephalus rufus* (JACQUIN) BREFELD, new to the Japanese fungous flora

しろきくらげ科 (*Tremellaceae*) ノ *Gyrocephalus* ナル屬ハ僅カ 1〜2 種ヲ含ム極メテ特異ナ genus デアツテ、多クノ菌類書デハ *G. rufus* (JACQ.) BREF. (又ハ *G. helvelloides* (DC.) PERSOON) ナル一種ノミヲ載セテ居ルニ過ギナイ。